

令和8年7月23日

第1学年の保護者の皆様

苫小牧市立勇払中学校長 新倉 順治

令和8年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月23日（木）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

令和8年4月23日（木）

(2) 調査対象

市内中学校第1学年

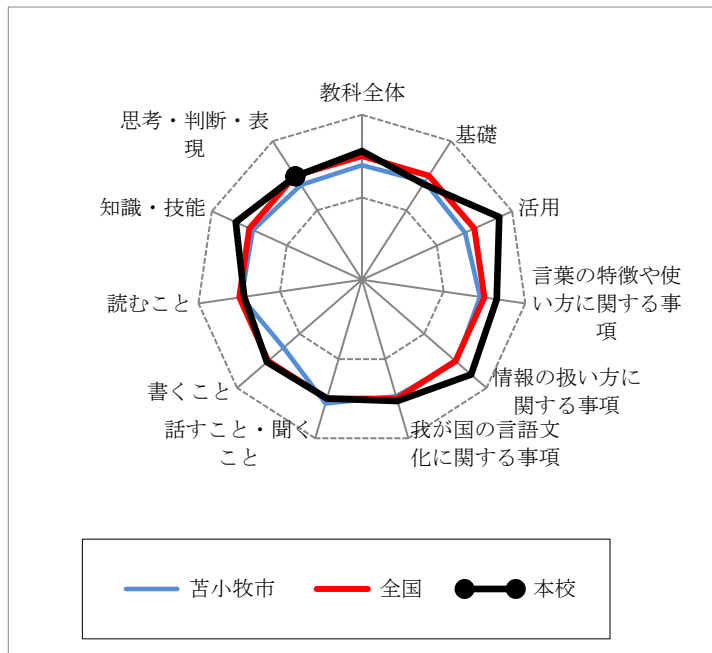
(3) 検査内容等

- ① 国語科及び数学科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 標準学力調査（目標準拠評価方式）を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科

- ① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）

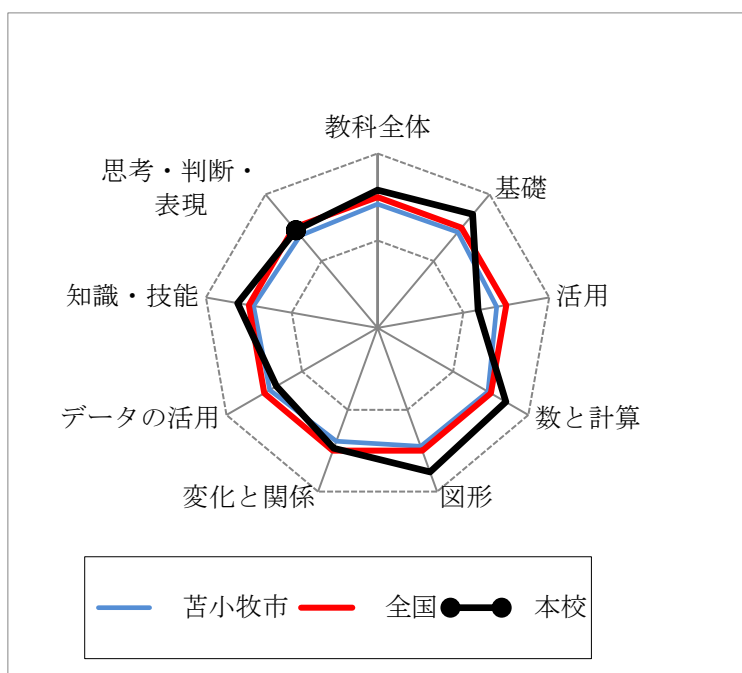


② 考察

- ◎ 教科全体としては全国平均値とほぼ同等であり、おおむね良好といえます。
- ◎ 領域別に見ると「知識・技能」「活用」「情報の扱い方」は良好ですが、「読むこと」「基礎」にやや課題が見られます。
- ◎ 学力向上に向けた取り組み
(学校) 基礎学力や読むことに課題が見られるため、反復学習や小テストを多く取り入れ、基礎学力の向上や読解力の定着を目指します。
(家庭) 家庭学習では漢字練習や文法の復習など知識事項を定着させると共に、読書を推奨するなど文字を読む機会を増やしてください。

(2) 数学科

① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）



② 考察

- ◎ 教科全体としては全国平均値とほぼ同等であり、おおむね良好といえます。
- ◎ 領域別に見ると「基礎」「図形」「数と計算」で全国平均を上回っていますが、「活用」に課題が見られます。
- ◎ 学力向上に向けた取り組み
 - （学校）基本的な知識や技能は身に付いています。これらを生かしていくために、知識をどのように利用していくのかを授業で扱うようにしています。また、数学的な思考力を向上させるために、考え方や記述の方法を指導しています。
 - （家庭）まずは、毎日数学の勉強に取り組むことが大切です。基本的な問題でかまいませんので、一定の時間で正確に解くことを意識して行ってほしいと思います。ワークに取り組む際には、参考書を作るつもりで、途中の計算を書いたり、空いている部分に大事な内容や間違えた理由などを記入することも重要です。2回、3回とやり直し、何も見なくても全問正解できるようになるまで繰り返し取り組むことを意識して家庭学習を行ってほしいと思います。